

ProWine São Paulo 2025：期待を上回る成功を収め、 2026 年の拡大開催を発表



来場者数 2 万名超、36 か国・1,500 ブランドが参加したアメリカ大陸最大のワイン・スピリッツ専門展は歴史的な記録をマーク。ビジネス機会の強化を図り、来年は新しい構造で開催することを発表

アメリカ大陸最大規模を誇るワイン・スピリッツの国際見本市「ProWine São Paulo」は、2025 年 9 月 30 日から 10 月 2 日までの 3 日間、ブラジル・サンパウロの Expo Center Norte で開催されました。来場者数は 2 万名を超え、36 か国から 1,500 ブランドが出展しました。来場者数は前年比 33% 以上増、出展者数は 7% 増と、過去最大規模となる歴史的な開催となりました。

ProWine São Paulo のディレクター、マル・セヴィエリ氏は「私たちは、ワインとスピリッツの業界において、文化と歴史、そして何よりビジネスの創出に貢献しています。ブラジルはこの市場における新たなパワーハウスです。消費者の選択と購買の質は年々進化しています。」と語ります。

市場分析もこの成長を裏付けています。これまで市場拡大をけん引してきたエントリーレベルのワインは 2025 年に入り停滞傾向にある一方で、パンデミック以降、プレミアムワインは着実な成長を続けています。昨年、ブラジルは輸入量・金額ともに過去最高を記録しました。今年については保守的な見通しもありましたが、実際には再び成長トレンドに入りつつあります。こうした傾向の背景には、ワイン文化の浸透と、ProWine São Paulo が牽引する業界のプロフェッショナリズムの高まりがあります。

共同ディレクターのクリスチャン・ブルゴス氏は、ブラジル国内における食文化の変化にも次のように言及しています。「人々の食生活はよりヘルシーで軽やかな方向へシフトしています。それに伴い、ワインの選択にも変化が見られ、白ワインやスパークリングワインへの関心が高まっています。現在、ブラジルにおける白ワインの消費量は、全ワイン消費の 24% に達しており、スパークリングワインの人気も長年にわたり安定して増加しています。これまで年末の祝祭用に限られていたスパークリングワインも、日常のちょっとしたお祝いの場で楽しめるようになっています。」

ProWine São Paulo は、特にサンパウロ州において議論が高まっているアルコール飲料の汚染・偽造問題が注目される中での開催となりました。このようなタイミングだからこそ、同イベントは、正しく製造・販売された安全な飲料の提供が可能であることを示す重要な場となりました。



「非常に難しく、悲しい問題です。密輸や偽造によって生み出された飲料を消費したことで、深刻な健康被害を受けたり、命を落とす人まで出ています。これまでは、ワインやスピリッツにおけるこの問題は、主に経済的・財政的な観点から語られてきましたが、実際には深刻な公衆衛生の問題です。出所の分からない飲料を口にすることは、大きなリスクを伴います。だからこそ、私は常に『出所の確認された製品を信頼できる業者から購入すること』の重要性を強調しています」と、ブルゴス氏は警鐘を鳴らします。また、「価格の安さに引かれて、信頼性の低いチャネルから購入してしまう消費者も少なくありませんでした。しかし今や、それが単なる脱税ではなく、自身や家族の健康を脅かす非倫理的な行為であることが、広く認識されつつあります」とも指摘します。

今年の ProWine São Paulo は、ブラジルワインの多様性と成長を祝う舞台ともなりました。バイーア州、エスピリト・サント州、ゴイアス州、ミナス・ジェライス州、ペルナンブコ州、パラナ州、リオデジャネイロ州、リオグランデ・ド・スル州、サンタカタリーナ州、サンパウロ州、そして連邦直轄区から、200 を超えるブラジルブランドが出展。国内外で高まる注目度を裏付ける結果となりました。

また、出展者の多くは地域ごとの個性を強調するグループとしても参加しました。「Vinhos dos Altos Montes」「Vinhos Gaúchos」「Vale dos Vinhedos 高品質ワイン生産者協会 (Aprovale)」「Santa Catarina 高地ワイン協会」「São Francisco Valley ワイン協会 (Vinhovaf)」「Minas Gerais ワイン産業組合 (SindVinho MG)」「冬季ワイン生産者協会 (Anprovin)」などがその例です。

ProWine São Paulo のセヴィエリ氏は「この見本市は単なる製品の展示会ではありません。市場とプロジェクトが出会い、戦略が交差する場でもあります。試飲や商談を通じて、ワインとスピリッツは『味わい』だけでなく『戦略』の代名詞でもあることが明らかになります。ここでは、感覚的な体験と経済的な動きが交錯し、会話のひとつひとつが新たなパートナーシップの始まりになるのです。」

このような戦略的連携の一環として、ブラジルワイン振興団体「Wines of Brazil」は、Rio Grande do Sul ブドウ栽培計画・管理・発展協議会 (Consevitis-RS) と ApexBrasil の協力により「バイヤーズ・プロジェクト」を実施。中国、ロシア、アンゴラ、フランス、スロバキアの 5 か国から招かれた海外バイヤーが参加し、専用スペースでブラジルのワイナリーとの商談を行いました。本企画には 5 州 (Bahia、São Paulo、Rio Grande do Sul、Minas Gerais、Pernambuco) から 22 のワイナリーが参加し、前年から 37.5% の増加となりました。

この成功を受け、2026 年の ProWine São Paulo (開催日：10 月 6-8 日) は、これまで使用していた

「グリーン・パビリオン」から、「ホワイト・パビリオン」と「ブルー・パビリオン」へと拡張移転します。これにより、展示スペースが大幅に拡張され、出展者数の増加と来場者にとっての快適性が向上。プロフェッショナル向けワイン・スピリッツ見本市として、アメリカ大陸最大かつ最も包括的なイベントとしての地位をさらに強固なものとしします。



ProWine São Paulo について

ProWine São Paulo は、ドイツ・デュッセルドルフで開催されている世界最大級のワイン・スピリッツ専門見本市「ProWein」のスピノフとして、2019年にブラジルで初開催。以来、業界のキープレイヤーが集い、ビジネス創出、新製品発表、ネットワーキング、知識共有の場として高く評価されています。Emme Brasil、Inner Group、Messe Düsseldorfの三者合同主催。次回は2026年10月6-8日、サンパウロのExpo Center Norteにて開催されます。